

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第32週)

宮城県【平成26年08月14日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2014. 8. 4 ~ 8. 10 ・ 第32週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)				今週の全数報告疾病			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第29週		第30週	第31週	第32週
水痘	2 0.40	5 0.50	6 1.20	2 1.00		1 0.20	1 0.50	6 0.23	23 0.40	1,329	→	○→	レ→		
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50	3 1.00			6 0.23	11 0.19	425	○→	レ→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	10 2.00	25 2.50	9 1.80	12 6.00	17 5.67	5 1.00	1 0.50	65 2.50	144 2.48	13,879	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	4 0.80	5 0.50	3 0.60			3 0.60		7 0.27	22 0.38	167	→	→	→		
伝染性紅斑	1 0.20	4 0.40	5 1.00	1 0.50	9 3.00	24 4.80		14 0.54	58 1.00	1,694	◎→	◎→	◎→	◎	
突発性発しん	7 1.40	5 0.50	8 1.60	1 0.50	2 0.67	2 0.40	2 1.00	15 0.58	42 0.72	1,221	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ	10 2.00	28 2.80	22 4.40	28 14.00	51 17.00	23 4.60	3 1.50	47 1.81	212 3.66	634	○→	◎→	◎→	◎	
インフルエンザ											→	→	→		
咽頭結膜熱	3 0.60	3 0.30				1 0.20		7 0.27	14 0.24	474	○→	レ→	→		
流行性角結膜炎		2 0.67	1 1.00						3 0.25	93	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.20	7 0.70	3 0.60	1 0.50	1 0.33	8 1.60		24 0.92	50 0.86	4,069	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	14	→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			3 3.00	1 1.00			1 1.00	2 0.40	7 0.58	273	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症		1 0.10	2 0.40			1 0.20		3 0.12	7 0.12	381	→	→	→		
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2 13					3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病		1					2	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>						
	不明発疹症				1			5							
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52						

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)  
仙台管内 女性1名  
腸管出血性大腸菌感染症(O103)  
仙台管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症  
栗原管内 男性1名  
仙台管内 男性1名

5類感染症: 後天性免疫不全症候群  
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント  
- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -  
[伝染性紅斑]  
登米、石巻管内で警報継続中。  
[ヘルパンギーナ]  
栗原、登米管内で警報継続中。

【病原体検出情報】  
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第30週採取分 (7.21～7.27)	第31週採取分 (7.28～8.3)	第32週採取分 (8.4～8.10)
バリンフルエンザウイルス1型	4件	4件	0件
バリンフルエンザウイルス3型	9件	6件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	1件	0件
RSウイルス	1件	3件	2件
アデノウイルス	1件	1件	1件
ライウイルス	1件	2件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

[レジオネラ症]  
Legionella属菌(Legionella pneumophila)などが原因で起こる感染症で、劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある。高齢者や新生児、免疫機能が低下した者が感染すると肺炎を起こす危険性が高くなる。今週も栗原、仙台管内で患者報告があることから、特に注意が必要である。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第30週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は沖縄県(1.24)、岐阜県(0.05)、福岡県(0.05)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は8例と前週と比較して増加し、5都道府県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は370例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(1.41)、群馬県(1.33)、長野県(1.11)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は第23週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.00)、福岡県(1.88)、愛媛県(1.84)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(6.56)、宮崎県(5.67)、岡山県(5.43)である。**水痘:** 定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.65)、福井県(1.50)、長野県(1.48)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(5.18)、大分県(3.56)、石川県(3.45)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.24)、熊本県(0.08)、大分県(0.06)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山梨県(7.58)、東京都(7.36)、埼玉県(6.54)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、高知県(0.75)、青森県(0.67)、長崎県(0.67)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。6都道府県から7例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(2例)、5～9歳(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約60カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数